

授業科目名	健康の科学	教員名	丸山 圭介	免許・資格 との関係	高等学校教諭（英語）	必修
					中学校教諭（英語）	必修
					小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	必修
					保育士	必修
					こども音楽療育士	
科目番号	TCE108	配当年次	1 年次後期	卒業要件	中高英語コース	
授業形態	講義				小幼コース	必修
単位数	1 単位				幼保コース	必修
科目	教職に関する科目（教職の意義等に関する科目）（幼稚園及び小学校）					
各科目に含める 必要事項						
科目						
施行規則に 定める科目区分						
科目						
系列						
一般目標	人の体に備わっている恒常性維持機構を理解し、「健康」を保つための仕組みを習得する。					
到達目標	人の体に備わっている恒常性維持機構に関して、下記の点を説明できる。 ・「外部環境」と「内部環境」 ・「恒常性とは」 ・「自律神経とホルモン」 ・様々な生体恒常性の維持機構（「水分調節」、「エネルギー代謝調節」など） ・恒常性維持機構の破綻					
ディプロマ・ポ リシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている、6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授業の概要	本講義では、人の体の中にある様々な仕組み、特に「自律神経とホルモン」、「水分調節」、「消化と吸収」、「エネルギー代謝調節」、「呼吸」、「血液と循環」、「ストレス反応」、「体温調節」を学び、生体の恒常性維持機構を理解することで、「健康」に関する科学的知識を得る。					
履修条件・ 注意事項	講義内容には、動物学や医学に関する専門的知識も含まれるため、必ずノートを用意してメモを取り、復習を行ってください。ただし、講義で使用するスライドをスマホ等で撮影することは固く禁じます。撮影していることが判明した場合は、講義を受講できなくなる可能性がありますので、注意してください。定期試験では、講義内容から広く出題します。従って、講義で分からない点があれば、必ず質問してください。					
授業計画	第1回 内容1：自己紹介・講義オリエンテーション （本講義の概要、履修における注意点、評価方法の説明） 内容2：健康と病気 第2回 内容1：外部環境と内部環境、生体の恒常性 内容2：司令塔（中枢）から情報伝達！“自律神経と内分泌” 第3回 内容1：体液（内部環境）を構成する要素！“組織液、血液、リンパ液” 内容2：様々な物が流れる！“心臓と循環” 第4回 内容1：体の隅々まで酸素を届ける！“赤血球とガス交換” 内容2：感染から身を守る！“白血球の働き”					

	第5回 内容：お腹が減る！“食欲と消化吸収” 第6回 内容：内部環境から老廃物を取り除く！“腎臓の働き” 第7回 内容：ストレスから身を守る！“脳と身体ストレス反応” 第8回 内容：男性と女性！“性分化と性機能” * 内容が変更されることもあります。 定期試験：試験期間中に実施
学生に対する評価	定期試験で評価する。60%以上を合格とする。 評価は学生便覧を参照 （尚、定期試験受験可能な授業出席数が無ければ受験できない）
時間外の学習について	（事前・事後学習として週2時間以上行うこと。） ・事前学習：授業の最後に次回学習の内容を提示するので、それに応じていろいろなメディア（文献、テレビ、新聞、ネット等）から情報を収集しておくこと。
教材にかかわる情報	テキスト：特になし（スライドを用いての講義） 参考書：特になし 参考資料等：特になし
担当者からのメッセージ	
オフィスアワー	授業の前後の時間 Email: k-maruyama@cc.miyazaki-u.ac.jp
備考	